

マルトンヴァーシャー

マルトンヴァーシャーはハンガリーのフェイエール県の1つの町です。ブランズウィックの芸術を支える伯爵のかつての住居があり、音楽の歴史の大切な価値があるメモリーを保存しています。前世紀の最初の数年間、不滅の音楽の天才ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーベンがここを訪れました。ハンガリー科学アカデミーの農業研究所は、国境を越えて知られる農業研究拠点として村の名前を作ったマルトンヴァーシャーのランドマークでもあります。マルトンヴァーシャーには、ベートーベン博物館がある宮殿、中央ヨーロッパで唯一の幼稚園博物館もあります。今はブランズウィックの城を訪問できませんが、城の公園に行くことができます。

ウェブサイト <https://martonvasar.hu/>

基本情報

郡の北東部、ブダペストから30 km、セーケシュフェールヴァールから30 km、ヴェレンス湖の東北東13 km、Százhalombattaの西9 kmに位置し、高速道路7号線の隣にあります。SzentLászlóという小川が集落を流れています。集落の一部は、農家の町のOrbánhegyです。マルトンヴァーシャー中心部から北西1.6kmに位置しています。マルトンヴァーシャーの人口は2011年の国勢調査によると、居住人口は133人、住居数は55人、その他の居住者数は6人です。

ブダペストのKelenföld鉄道駅から、G43の電車に乗ると、19分とか23分ぐらいでマルトンヴァーシャーに行けます。そのルートでセーケシュフェールヴァールに向かう便もあるので、注意して下さい。

歴史

マルトンヴァーシャーは、ハンガリーの歴史が始まる以前は、Szentlászlóという小川の両側に集落があり、ケルト人やサルマティア人が住んでいました。ハンガリー人によって占領された895年より前は、ここをローマ皇帝も征服しました。

11世紀には人口密度の高い場所だったかもしれませんが。1268年に最初に町として言及されました。ブダ-フェルヴァールの交易路に沿っていたため、貿易の復活とともに拡大しました。当時、マルトンヴァーシャーはおそらくフェイエール郡でフェールに次ぐ最大の都市でした。

トルコ人は1526年、1528年、1541年、1543年、1545年、1551年にこの町を通過して進軍したため、16世紀半ばまでにマルトンヴァーシャーが完全に過疎化したことは明らかです。

1770年代に、この地域はブランズウィック家の手に渡りました。彼らは大規模な建設を開始し、1773年から1776年の間にローマカトリック教会とバロック様式の城(1870年にネオゴシック

ク様式に改築)を建設し、以前絶滅した村に多くの入植者を引き付けました。町の大きな誇りは、1800年にルートヴィヒ・ヴァン・ベートーベンがここを訪れたことです。

1861年には、この集落は、ハンガリーで2番目に重要な鉄道路線であったサザン鉄道会社のブダ-ナジカニジャ線である鉄道網に接続されていました。マルトンヴァーシャーに建設された鉄道駅は、低速列車を石炭と水で満たす役割も果たしました。

第二次世界大戦は経済に大混乱をもたらしました。そこで、ブランズウィック家のかつての地所の分割が農業をさらに増やす絶好の機会を提供しました。1951年に、農業研究所が村に設立されました。この研究所は、1953年からハンガリー科学アカデミーによって管理されており、当初からハンガリーで最も発展した機関です。マルトンヴァーシャー観光もこの時期に発展しました。その大きな成長は、1991年以降、最初の「マルトンヴァーシャー・フェスティバル」の組織によって始まりました。「マルトンヴァーシャー・フェスティバル」1991年からは毎年7月にあった色々なバンドのライブとかプログラムの祭りです。ただし、「マルトンヴァーシャー・フェスティバル」に関する最後の記事は6年前だったので、現在も開催されているかどうかはわかりません。

町は2005年に市のステータスを取得しました。2013年に、政府はこの集落をマルトンヴァーシャー地区の本拠地として指定しました。

有名人

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーベン

18世紀の有名なドイツの作曲家でした。ハイドンやモーツァルトと並んで、彼はウィーンの古典の3番目の偉大な人物と見なされています。彼はまた、オーストリア・ハンガリー帝国を旅行し、1806年にフェイェール郡のブランズウィック伯爵の邸宅にあるマルトンヴァーシャーのハンガリーにも行きました。ハンガリーにいる恋人はユーリア・セーケイ伯爵夫人だったそうです。そのことについて彼女の「A halhatatlan kedves」という小説に書いてあります。

ブランズウィック家

ブランズウィック家は1598年にニトラ県が初めて貴族と認めました。ブランズウィック家は、1758年から1893年までマルトンヴァーシャーと関係がありました。ブランズウィック・アントルはマリア・テレジアからマルトンヴァーシャーの邸宅と伯爵の称号を授与されました。マルトンヴァーシャーで、息子のフェレンツが後にブランズウィック城を建設しました。ブランズウィック伯爵一家は、1899年にゲーザの死により絶滅しました。ブランズウィックという名前の最後の家族は、ゲーザの妹のマリアでした。彼女はまた、不動産を売却するときにハンガリーの市民権を放棄しましたが、その場所への愛着のしるしとして、マルトンヴァーシャー幼稚園と学校に多額のお金を残しました。

マルトンヴァーシャーの名所

- ブランズウィックの城と公園

ブルンズウィックの城は、ハンガリーで最も有名な貴族の住居の1つです。城は1783年から1785年の間に建てられ、教会の片側に11室、反対側に6室ありました。ブルンズウィック・フェレンツは、1820年代に城に上の階を建て、古典主義のスタイルで城を再建しました。彼の息子、ブルンズウィック・ゲーザは、1872年から1875年の間にネオゴシック様式で城を再建しました。それから彼は1893年に城を売却しました、その後、城は大公ヨゼフ・カロリー・ラホスが短期間所有していました。彼は改修を行い、4年後の1897年に城を醸造のドレハー・アントルに売却しました。ドレハー・アントルは1945年まで所有し、城にいくつかの大きな変更を加えました。建物は1920年代にさらに小さな変更が加えられました。1945年、建物内に軍病院が設立され、その後所有者がいませんでした。1953年以来、ハンガリー科学アカデミーの管轄下にあります。そして、戦争による被害の後、1970年代にトゥー・ペアウレールの計画に従って修復されました。今日、城にはベートーベン記念博物館があります。

公園は68ヘクタールで、1954年から自然保護区になっています。ほぼ400種の木本植物、落葉樹、常緑樹があります。湖の真ん中にある島に、パストル・ヤノシュが作ったベートーベンの像が立っています。この島に、毎夏ベートーベンのコンサートが行われます。ブルンズヴィク・テレゼの銅像(トリー・マリア作)と、有名な農業文化の人物(テセディク・サムエル、バロス・ラスロ、セルハティ・シャンドル、パップ・エンドレ)の胸像が遊歩道沿いに見られます。公園では、結婚式の写真撮影や結婚式のほか、さまざまなライブ音楽のパフォーマンスも定期的に開催されています。

マルトンヴァーシャーのプログラム

一年を通して色々なプログラムがあります。毎月家族と一緒に楽しめるプログラムもあります。

住所 Martonvásár, Brunszvik u. 2.

ウェブサイト http://martonvasar.hu/visitor/brunszvik-kastely_es_parkja

ギャラリー <https://szallas.hu/programok/brunszvik-kastely-martonvasar-p4248#image-1>

夏の営業時間 4月1日-10月31日 毎日8時から18時まで、

冬の営業時間 11月1日~3月31日:毎日8時から16時まで

城の公園は小さくとても綺麗です。Agroverzumに入ったら、公園を数時間、家族とか友達とか恋人と一緒に歩くことができます。



- **Agroverzum**

- 住所 Martonvásár, Brunszvik u. 2. 「ブランズウィックの城の公園内」
- ウェブサイト <https://agroverzum.hu/en/>
- 営業時間とチケット情報 <https://agroverzum.hu/en-information/>
- ここからベートーベン博物館も入ることができます。





- ベートーベン博物館
 - ウェブサイト https://martonvasar.hu/visitor/beethoven_muzeum
 - 夏の営業時間 4月1日-10月31日: 毎日午前9時から午後6時まで
キャッシュクロージング: 午後5時15分
 - 冬の営業時間 11月1日~3月31日: 水曜日から日曜日、午前10時から午後4時
キャッシュクロージング: 午後3時15分



- 幼稚園博物館
 - 住所 Martonvásár, Dózsa György út 13.
 - ウェブサイト <http://ovodamuzeum.hu/>



ホテル・レストラン

セーナポトゲストハウスとベッド&ブレイクファースト

マルトンヴァーシャーレにはホテルがないですが、隣の町のトルダシュのベッド&ブレイクファーストは、おすすめです。Szép Napotというこのゲストハウスはマルトンヴァーシャーレから車で15分ぐらい、ブダペストから30分ぐらいかかります。公共交通機関でのアクセスですが、ブダペストのDéli鉄道駅とマルトンヴァーシャーレの間を電車とバスが30分おきに運行しており、マルトンヴァーシャーレの駅からバスでトルダシュに行くことができます。

完全に改装された家族経営のゲストハウスは、2人用の設備の整った部屋、広々としたダイニングルーム、おいしい朝食、そして素晴らしい愛情でお客様をお待ちしています。



ポシュタコチレストラン

百年の伝統があるこのレストランはマルトンヴァーシャーの中心部にあり、18世紀からレストランとして運営されています。ブランズウィック城とその公園の隣にあります。レストランのスタッフは毎日準備を整えお客様を待っています。彼らは素晴らしい専門知識を持っています！

懐かしい味。素晴らしいイタリアの料理。薪の暖炉のピザもあります。
当店をご覧になる方の中には、その場所の過去のせいで古めかしいごちそうを思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれませんが、このレストランの料理は伝統と新しさが組み合わせられています。

デリバリーも可能です。

ウェブサイト

<https://postakocsietterem.hu/>



マルトンヴァーシャルの地図

